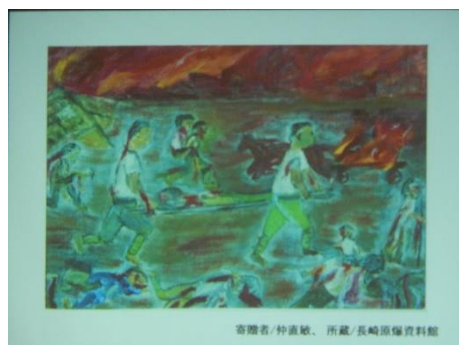


1年生平和教育

1月30日に『なぜ核兵器はなくなるのか』・『キューバ危機』についての映像を見せグループで意見を交換しました。また、2月13日に被爆体験伝承者の松尾蘭子さんをお招きし山脇佳朗さんの被爆体験を語っていただきました。原爆投下の直後の長崎の様子や山脇さんが体験した残酷な惨状を知ることができました。



生徒の感想

『なぜ核兵器はなくなるのか』・『キューバ危機』について

- ・どの国も自分の国を守るために必死。これからも核兵器が無くなることはないと思いました。でも、自分の国のことを考えるだけでなく、他の国のことを考えなくては駄目だと思います。
- ・どの国も一斉に核兵器をなくせば、核戦争は起こらないのではないかと思います。
- ・どの国も核兵器を持たないでほしいし、戦争はぜったいに嫌だと思いました。
- ・すべての国が他の国のことを考え、仲良く平和であってほしいと思いました。
- ・唯一の被爆国である日本は、世界に向けてもっと発信できることはないのだろうか？
- ・核の恐ろしさを知りました。これからは、世界中から核をなくすために国どうしの交流や、価値観を合わせる必要があると思いました。これからも、平和が続くように若い人たちが行動すべきだと感じました。
- ・戦争で得られるものは何もない。戦争をしないのが一番いい。
- ・核兵器を作るお金があるのなら、もっと世界が平和になるためにお金を使ってほしい。

『山脇佳朗さんの被爆体験』について

- ・実際に被爆した人の話をしていただけたことは、貴重な体験になりました。原爆直後の長崎の様子を聞いてとても驚きました。そこら中に亡くなった方の遺体があるとか、ひどいやけどをした人の写真などを見て、痛々しかったです。自分が想像していたよりも、すさまじかったです。
- ・「原爆は人を3回殺す」という言葉が心に残りました。熱線・爆風・放射線でたくさんの方が亡くなりました。
- ・今回は、真っ黒こげになった人の遺体の画像を見て、本当に怖いと思いました。話の内容もリアルすぎて、改めて原子爆弾の怖さを実感しました。
- ・被爆者の方たちはどんな思いで家族を探したのだろうと考えるととても胸が痛くなりました。
- ・山脇さんは海外の方に被爆体験を伝えるために英語を勉強したと知りました。海外の方にもっと広く被爆体験を伝えていかなければと思いました。
- ・自分の父親の遺体を自分たちの手で焼かなければならなかったという話を伺い、自分だったら耐えられないと思いました。被爆の体験を語り継いでいくことは大切なことだと感じました。
- ・被爆者は私達が想像できない程、残酷で悲しい体験をしたのだと改めて思いました。世界中にこの事実広め、平和で安心して暮らせる世界になってほしいと思います。